

## アメリカからの贈りもの

今年、アメリカ大リーグ ドジャースの大谷翔平選手は、日本の全小学校に「野球しようぜ」というメッセージと共に約6万個のグローブを寄贈されました。もちろん賀露小学校にも届き、子ども達は、そのグローブを使って野球を楽しんでいることです。そしてドジャースはMLBワールドシリーズを制覇。大谷選手のすばらしい活躍に世界中の野球ファンが熱狂し、野球を知らない多くの人達も感動を覚えたことと思います。

話は100年前に遡ります。

1927（昭和2）年、アメリカの赤十字奉仕団は、日米親善のために「青い目の人形」を日本の子ども達に贈りました。鳥取県には107個届き、鳥取市内の幼稚園や小学校へ配布され、賀露小学校へも配られました。

当時を知る人の記録には、「裁縫室の床の右側に、ケース入りの人形が飾られました。寝かせると目をつむり、起きると目を開け、曲げると『ママー』としゃべるので、学校中の人気でした。日本人形以外見たことのない私達は、大変珍しかったものです」とあります。

そのお礼として鳥取県は、賀露小学校児童総代 大黒正子さんの手紙を添えてアメリカに京人形を贈りました。人形の名前は「ミス トットリ」です。1995（平成7）年、大黒さんの手紙がサウスダコタ州立歴史協会博物館で保管されていることを知ったアメリカ在住のデイ・多佳子さんは、その存在を大黒さんにお知らせしようと賀露小学校へ問い合わせをされました。しかし残念ながら、大黒さんは既にお亡くなりになっていました。

アメリカと日本の間には、戦争という悲しい歴史がありました。しかし子ども達を交えた心温まる交流は確かにあり、大黒さんの手紙はその証です。そして100年経った今、政治や経済の上では様々な問題を抱える日米関係ですが、ロスアンジェルス在住 大谷選手からのプレゼントは、子ども達の未来が平和であれと願う証でもあるように思います。



ミス トットリ 青い目の人形（散岐小学校）  
(資料引用 Bill Gordon - Homepage)

この春は可愛のあ人形を  
送つて頂きました。誠に有  
難う御座いました。  
そこで二の度私等があれに  
京人形をお國へ遣ることに  
しました。

名前はミストツトリと申し  
ます。このけなげなお使を、  
どうぞ可愛かつてやつて下  
さい。厚く御願します。

そしてあなた様たちの一番  
あたりのしあわせのクリスマスには  
皆様と一緒に樂しく遊  
んでやつて下さい。

愈：あ人形が旅立つことに  
なりましたか遠いお國へ  
無事に着けばよいかそして  
私等の心持を皆々様へよい工  
合に傳してくればよいかと  
心配しますどうかあ人形の  
事を一日もあ忘れにならない  
で、皆々様が元気で御健  
強あそばす様偏へにお祈  
りします さよなら

アメリカの  
お友達へ

十月一日

鳥取縣氣高郡賀露小學校  
児童總代

大黒正子

### 大黒正子さんの手紙

#### 資料引用

[Bill Gordon - Homepage](#)

[Miss Tottori Chats With American Children](#)

[Miss Tottori - Japanese Friendship Doll](#)